

株主メモ	
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月中開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎0120-782-031 (土日祝祭日を除く9：00～17：00)
公告方法	電子公告とする。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載しておこなう。
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部
証券コード	8097

各種お手続きについて
株式に関するお手続きおよびご照会について
住所等のご変更、単元未満株式の買取請求、配当金の受領方法・振込先のご変更、その他のお手続きおよびご照会は、下記の各該当先をお願いいたします。
(証券会社等の口座に記録された株式) 口座のある証券会社等
(特別口座に記録された株式) 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

証券会社等への口座振替のすすめ
株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主さまのご所有株式は、株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社に開設された「特別口座」に記録されています。特別口座では、単元株の売買ができないなどお取引に一定の制限があります。円滑なお取引をおこなうためにも、特別口座から証券会社等に開設された株主さまの口座に株式を振替えること(＝口座振替)をおすすめします。
お手続きの詳細につきましては、左記三井住友信託銀行株式会社証券代行部にお問い合わせください。
未払配当金の支払について
左記株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社 証券代行部にお問い合わせください。



第91期 中間報告書

2021年4月1日～2021年9月30日

目次	
株主のみなさまへ……………	1
特集 中期経営計画 (2021-2023年度) ……	3
事業の概況……………	5
財務情報……………	9
TOPICS ……………	12
企業インフォメーション……………	13
株式の状況……………	14
株主メモ／各種お手続きについて……	裏表紙

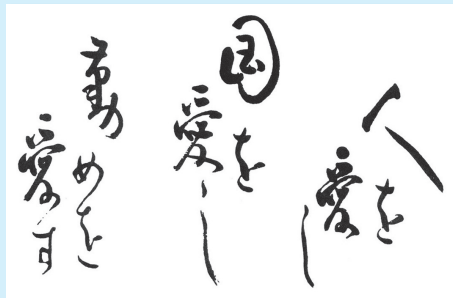




代表取締役会長
金田 準

代表取締役社長
塚原 由紀夫

経営理念



「人を愛し 国を愛し 勤めを愛す」は、
創業者 故 市村清の掲げた創業(三愛)精神です。

総合的なソリューションを提供し、
人々の生活と産業を支える
パートナーとなることで
成長し続ける企業グループを
実現してまいります。

株主のみなさまには、平素より格別のご高配
を賜り、厚く御礼申し上げます。

はじめに、新型コロナウイルス感染症により
亡くなられた方に謹んでお悔やみ申し上げます
とともに、感染症に罹患されたみなさまに心
よりお見舞い申し上げます。

当社は、2021年9月30日をもちまして、
第91期第2四半期を終了いたしましたので、
当社グループにおける事業の概況をご報告かた
がたご挨拶申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国
経済は、新型コロナウイルスの感染拡大により

緊急事態宣言が再発出され経済活動が制限され
るなど厳しい状況で推移いたしました。本年
9月末をもって緊急事態宣言が解除されたこと
により国内経済の回復が期待されますが、冬場
にむけて感染の再拡大が懸念され、先行きは
依然として不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻くエネルギー業界に
おきましては、新型コロナウイルス感染症の
影響により航空燃料の需要が依然として低迷し
ており、石油製品全体での需要が減少するなど
厳しい経営環境が続きました。また、2050年
カーボンニュートラルを目指す動きが世界的に
加速するなど大きな転換期を迎えております。

こうしたなか、当社グループは、2021年度
から2023年度までの中期経営計画「変貌する
未来への挑戦 Challenge 2030」をスタートし、
2030年度を照準に低炭素・循環型社会に対応
した事業ポートフォリオへの進化に向けて、
成長実現のための経営基盤の再構築に取り組ん

でまいりました。

今後も低炭素・循環型社会の実現へと事業環
境が大きく変化するなかで、総合的なソリュー
ションを提供し、人々の生活と産業を支えるパー
トナーとなることで成長し続ける企業グループ
を実現してまいります。

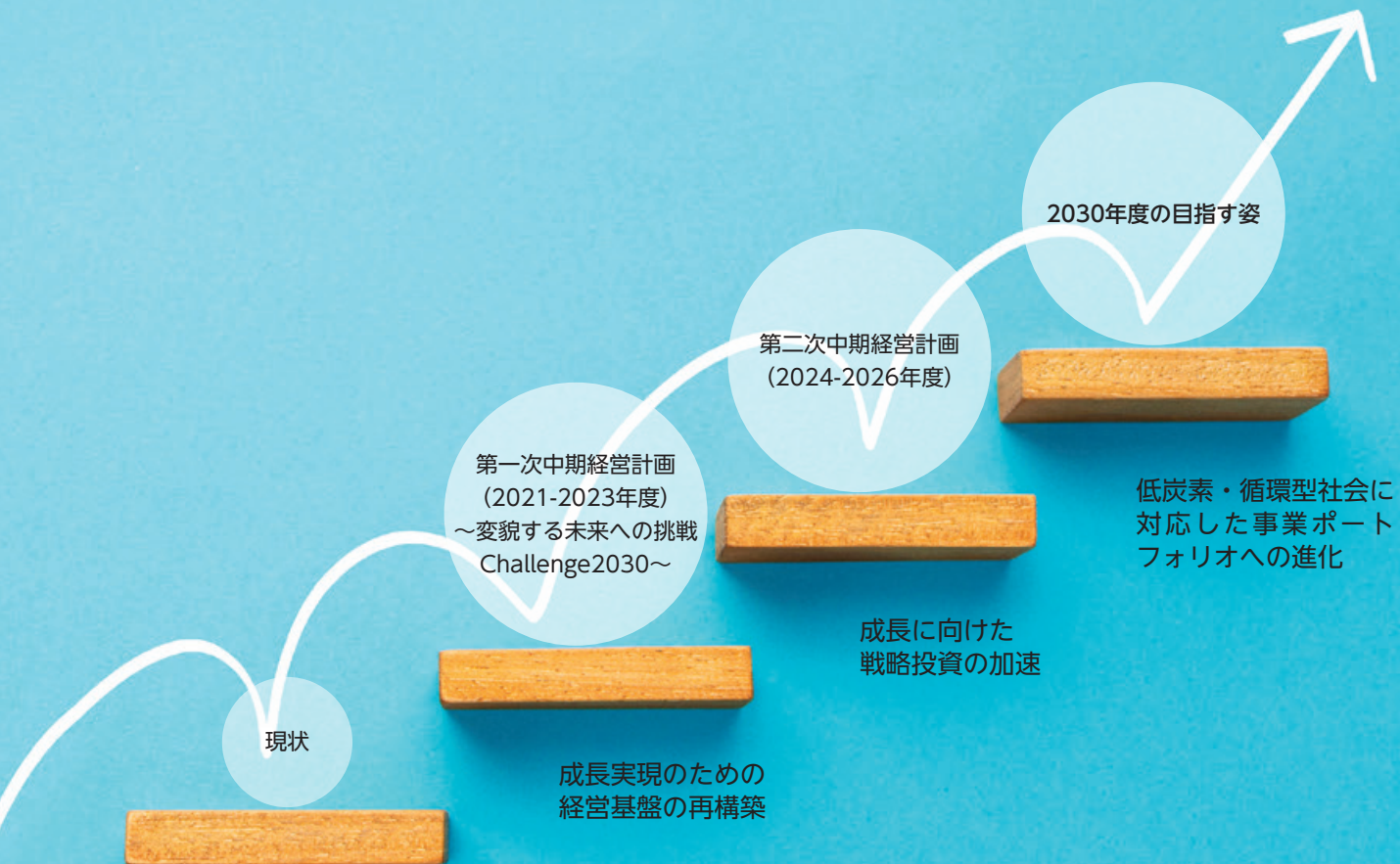
なお、2022年4月、当社は経営理念である
三愛精神「人を愛し 国を愛し 勤めを愛す」
とコーポレートブランド「Obbli」(オブリ)の
コンセプトのもと、新たな事業領域へ挑戦する
姿勢を示すため商号を「三愛石油株式会社」
から「三愛オブリ株式会社」に変更することと
いたしました。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも
一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し
あげます。

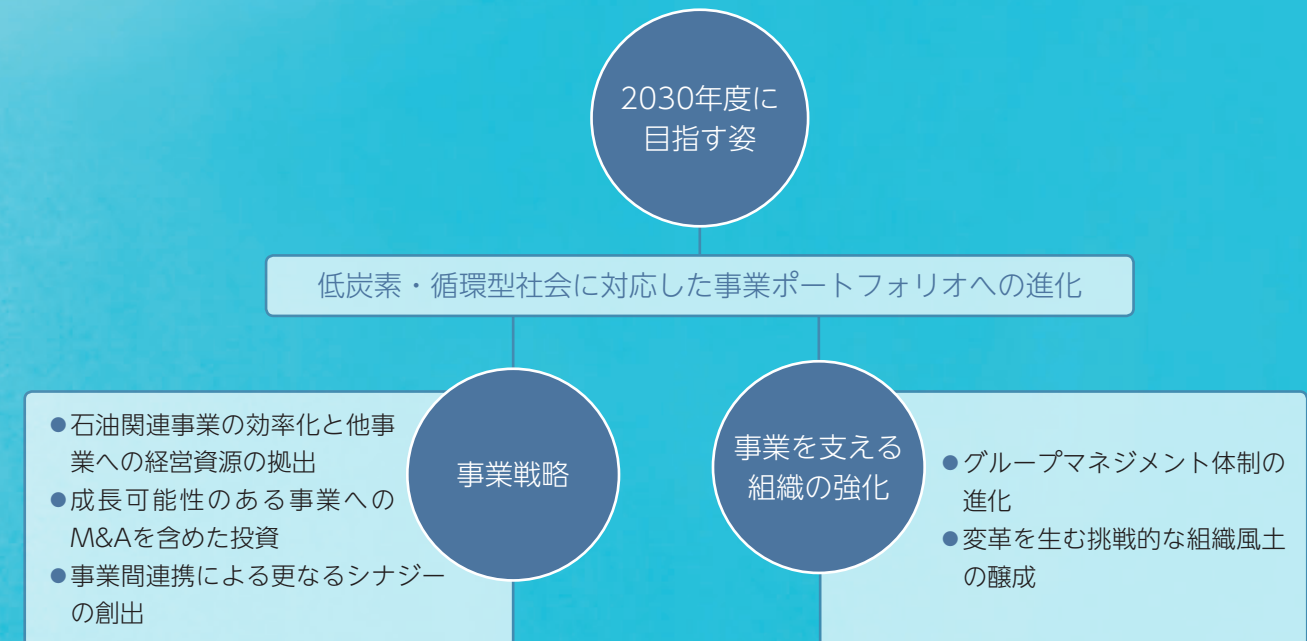
2021年12月

中期経営計画（2021-2023年度） ～変貌する未来への挑戦 Challenge 2030～

当社グループは、低炭素・循環型社会の実現へと事業環境が大きく変化する中で、経営理念である「三愛精神」とコーポレートブランドである「Obbli」（オブリ）を核として、総合的なソリューションを提供し、人々の生活と産業を支えるパートナーとなることを目指してまいります。



第一次中期経営計画（2021-2023年度）

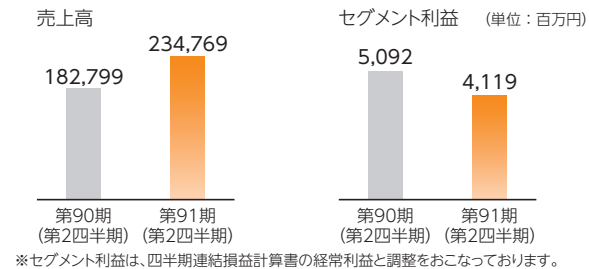


財務目標

2023年度には過去最高益の実現に加え、投資効率の向上と株主還元の拡大を図る。

	2020年度	第一次中期経営計画
連結経常利益	100億円	130億円以上
連結ROE	7.2%	8%以上
連結配当性向	27.6%	30%以上

石油関連事業



石油製品販売業

特約店への卸売や工場向け等の産業用燃料の販売、SS（サービスステーション）での小売販売を通して全国に石油製品を供給しております。 2021年9月30日現在 系列SS1,043ヶ所



当社グループにおきましては、自動車の燃費向上や新型コロナウイルス感染症の影響により石油製品の需要が減少するなか、SSの運営継承などによる販売網の拡大や子会社の統合によるグループ経営の効率化を図ってまいりました。

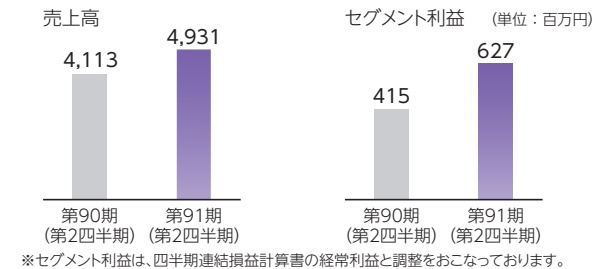
当社におきましては、SS経営戦略として「共走共汗

2021「新しい暮らし」への対応」を掲げ、新たにリリースしたスマートフォンアプリ「Mantan」により車検や洗車の予約販売を促進するなど、コロナ禍に対応した施策を実施してまいりました。また、感染症対策を講じて「接客サービスコンテスト」や「販売力強化研修」を開催し、SSスタッフの接客技術と販売力の向上を図ってまいりました。産業用燃料油販売につきましては、需要家のニーズに応えた提案型営業をおこなうことで販売拡大に努めてまいりました。産業用潤滑油販売につきましては、これまで構築してきたメンテナンスサービスを活用し、発電事業や食品製造業などの各分野向けに販売拡大を図ってまいりました。特に、今後成長が見込まれるガスエンジン発電や風力発電の市場におけるニーズを確実に捉え、既存顧客との安定的な取引や新規顧客の獲得に注力いたしました。

キグナス石油株式会社におきましては、「変化を力に、店舗を前に。」を掲げ、コロナ禍におけるお客さまの購買行動や価値観の変化をチャンスと捉え、「安心・安全」や「清潔・クリーン」を提供するSSづくりを施策として展開してまいりました。

なお、本年4月、SS運営をおこなう国際油化株式会社とキグナス石油販売株式会社が合併いたしました。

化学品関連事業



化学品製造販売業

防腐・防かび剤や自動車用ケミカル商品等の研究開発から製造・販売まで、メーカー機能と商社機能を融合させてご要望にお応えしております。



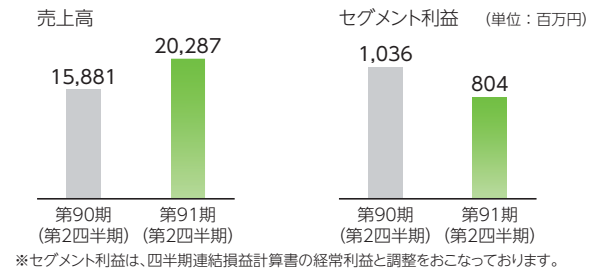
当社におきましては、国内工場の稼働状況が徐々に改善するなど需要がコロナ禍の影響から回復に向かうなか、顧客ニーズに応じた提案型営業を展開してまいりました。防腐・防かび剤では、金属加工油、コーティング、水処理用途などの販路拡大に注力してまいりました。石油系溶剤では、金属

加工油用途の需要が回復するなか、接着剤や塗料向けなど新たな用途への提案活動をおこなってまいりました。自動車関連商品では、洗車機用ガラス系コート剤を中心としたOEM製品や、高級洗車コーティングシステム「ARAWZANS」（アラウザンス）の販売拡大に努めてまいりました。また、光触媒コート剤など抗菌・抗ウイルスに対応した新製品の販売拡大を図ってまいりました。

研究所におきましては、昨年10月に拠点を神奈川県相模原市へ移し、防腐・防かび剤や自動車関連商品などの改良と新製品の開発に取り組んでまいりました。

三愛理研株式会社におきましては、製造設備の更新をおこなうなど、化学品メーカーとして工場の安全・安定操業に努めるとともに、消臭除菌剤や農薬などの受託生産の拡大を図ってまいりました。

ガス関連事業



LPガス販売業

家庭用、業務用等LPガス、産業用一般高圧ガス、エアゾール用脱臭LPガス、オートガスを販売しております。



当社グループにおきましては、少子高齢化に伴う世帯人員の減少や高効率ガス機器の普及などにより、LPガスの需要が減少するなか小売営業権の買収などにより顧客軒数の増加と販売数量の拡大を図ってまいりました。

こうしたなか、本年の基本方針を「RUNWAY 2021」とし、コロナ禍による新しい生活様式に合わせた販売支援やサービスメニューの提供を特約店向けの施策として展開するとともに、「報連相シー

ト」や「オブリStyle」などの情報収集ツールの活用によりお客さまとの接点強化を図ってまいりました。また、業務の省力化・合理化のため、LPWA*を活用した自動検針システムの構築を進めてまいりました。保安面におきましては、「一日保安ドック」を継続して実施するなど保安の確保に努めてまいりました。

なお、本年7月、グループ経営の強化を図るため、播州ガス株式会社は三愛オブリガス播州株式会社に商号を変更いたしました。

※LPWA Low Power Wide Areaの略で、省電力かつ広域なエリアをカバーできる通信方式

天然ガス販売業

佐賀天然ガスパイプライン等を利用した工場等への供給、天然ガスを利用したエネルギー供給、佐賀県における一般消費者への都市ガスの供給などをおこなっております。

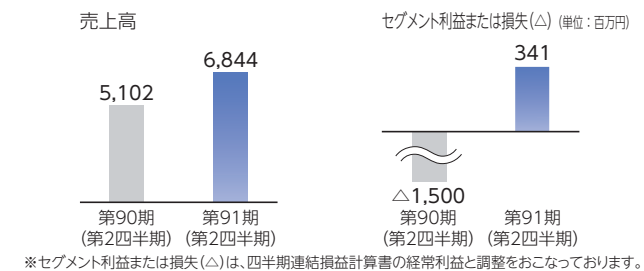
当社におきましては、コスト削減や環境負荷低減など需要家のニーズに応じたソリューション営業を展開してまいりました。大口需要家に対しましては、天然ガスと太陽光発電などの再生可能エネルギーを組み合わせたオンサイトエネルギーサービスの提案に努めてまいりました。佐賀天然ガスパイプラインでは、佐賀市内において、新たな需要家への供給に



向けて約10kmの本管延伸工事を開始いたしました。また、沿線パトロールや導管監視を徹底し、本年8月の佐賀県における豪雨の際にも支障なくガス供給をおこなってまいりました。

佐賀ガス株式会社におきましては、都市ガス導管の維持管理、設備の改廃、保安の強化等を進めるとともに、新規需要家の獲得およびガス空調システムなどの提案により都市ガスの需要拡大に努めてまいりました。

航空関連事業他



航空燃料取扱業

羽田空港での航空機給油施設の運営および給油業務のほか、北海道から沖縄まで27ヶ所で給油業務や給油施設の管理等をおこなっております。

当社グループにおきましては、航空機給油施設の運営に万全を期すとともに、航空燃料給油業務における安全確保に努めてまいりました。

羽田空港における燃料搭載数量は、前年同期を

上回ったものの、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う緊急事態宣言の再発出と各国の入国規制の継続により、国内線・国際線とも依然として低迷しております。今夏の東京オリンピック・パラリンピック開催については、無観客となったことから航空需要への効果は限定的となりました。

また、本年6月、当社は業容拡大のため、国内7空港*の給油施設を取得いたしました。

※国内7空港 旭川空港、女満別空港、青森空港、三沢空港、山形空港、南紀白浜空港、出雲空港



その他

金属表面処理業、建設工事業等をおこなっております。

三愛プラント工業株式会社におきましては、堅調な半導体関連向けの需要に支えられ、精密洗浄処理の受注が増加したことから、金属表面処理業の売上高は前年同期を上回りました。一方、建設工事業の売上高は、工事完工となる大型物件が低調であったことから前年同期を下回りました。

連結業績の推移



連結財務諸表

四半期連結貸借対照表(要旨)

	当第2四半期	前 期
	2021年9月30日現在	2021年3月31日現在
【資産の部】		
流動資産	78,646	81,141
現金及び預金	33,088	36,737
受取手形及び売掛金	—	37,116
受取手形、売掛金及び契約資産	36,788	—
有価証券	100	—
商品及び製品	7,102	5,709
仕掛品	90	69
原材料及び貯蔵品	87	91
その他	1,830	1,858
貸倒引当金	△440	△441
固定資産	107,506	106,103
有形固定資産	52,327	51,539
建物及び構築物	21,896	21,207
機械装置及び運搬具	7,412	7,873
土地	18,994	19,303
その他	4,024	3,155
無形固定資産	4,384	4,116
のれん	1,494	1,354
顧客関連資産	1,227	1,272
その他	1,662	1,490
投資その他の資産	50,794	50,448
投資有価証券	20,342	20,104
退職給付に係る資産	3,832	3,593
差入保証金	25,275	25,283
その他	1,439	1,565
貸倒引当金	△96	△98
① 資産合計	186,153	187,245

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

	当第2四半期	前 期
	2021年9月30日現在	2021年3月31日現在
【負債の部】		
流動負債	56,617	61,055
支払手形及び買掛金	40,027	42,706
短期借入金	300	270
1年内返済予定の長期借入金	2,650	3,129
未払法人税等	1,095	1,743
賞与引当金	1,449	1,707
役員賞与引当金	35	69
完成工事補償引当金	0	0
資産除去債務	19	94
その他	11,040	11,332
② 負債合計	76,757	80,777
【純資産の部】		
株主資本	99,522	96,824
資本金	10,127	10,127
資本剰余金	4,307	4,286
利益剰余金	87,379	84,698
自己株式	△2,291	△2,287
その他の包括利益累計額	4,801	4,655
その他有価証券評価差額金	4,621	4,407
土地再評価差額金	△353	△353
退職給付に係る調整累計額	534	602
③ 純資産について		
非支配株主持分	5,072	4,987
純資産合計	109,396	106,468
負債純資産合計	186,153	187,245

① 資産について
前期末に比べ10億92百万円減少し、1,861億53百万円となりました。これは主に、現金及び預金が減少したことによるものであります。

② 負債について
前期末に比べ40億20百万円減少し、767億57百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が減少したことによるものであります。

③ 純資産について
前期末に比べ29億27百万円増加し、1,093億96百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したことによるものであります。
以上の結果、自己資本比率は前期末の54.2%から56.0%となりました。

四半期連結損益計算書(要旨)

単位:百万円

	当第2四半期	前第2四半期	前 期
	2021年4月1日～ 2021年9月30日	2020年4月1日～ 2020年9月30日	2020年4月1日～ 2021年3月31日
1 売上高	266,832	207,896	473,899
売上原価	242,549	185,118	426,065
売上総利益	24,282	22,778	47,833
販売費及び一般管理費	19,628	18,798	39,241
営業利益	4,654	3,979	8,592
営業外収益	711	765	1,868
営業外費用	156	165	460
2 経常利益	5,208	4,580	10,001
特別利益	28	1,009	1,585
特別損失	132	1,558	669
税金等調整前 四半期(当期)純利益	5,104	4,030	10,917
法人税、住民税及び 事業税	1,469	1,397	3,473
法人税等調整額	162	△519	20
四半期(当期)純利益	3,473	3,153	7,423
非支配株主に帰属する 四半期(当期)純利益	291	90	369
3 親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	3,181	3,062	7,053

(注)記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

1 売上高について

石油製品の販売価格の上昇により前年同期比28.3%増の2,668億32百万円となりました。

2 経常利益について

航空関連事業の業績が依然として新型コロナウイルス感染症の影響を受けているものの、前年同期を上回ったことなどにより前年同期比13.7%増の52億8百万円となりました。

3 親会社株主に帰属する四半期純利益について

前年同期比3.9%増の31億81百万円となりました。

連結セグメント情報(セグメント利益または損失(△))

単位:百万円

	当第2四半期	前第2四半期	前 期
	2021年4月1日～ 2021年9月30日	2020年4月1日～ 2020年9月30日	2020年4月1日～ 2021年3月31日
石油関連事業	4,119	5,092	10,797 (注3)
化学品関連事業	627	415	－
ガス関連事業	804	1,036	2,755
航空関連事業他	341	△1,500	△2,666
計	5,893	5,044	10,886
調整額	△684	△464	△885
(四半期)連結損益計算書 計上額	5,208	4,580	10,001

(注)1.記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。
2.セグメント利益または損失(△)は、(四半期)連結損益計算書の経常利益と調整をおこなっております。
3.前期の石油関連事業には化学品関連事業を含んで表示しております。

三愛石油グループの商号変更

三愛石油(株)は、創業70周年を迎えるにあたり、経営理念である「三愛精神」とコーポレートブランド「Obbli」(オブリ)のもと、新たな事業領域へ挑戦する姿勢を示すため、2022年4月に商号を「三愛オブリ株式会社」に変更いたします。これに合わせて、グループ会社7社の商号も変更いたします。

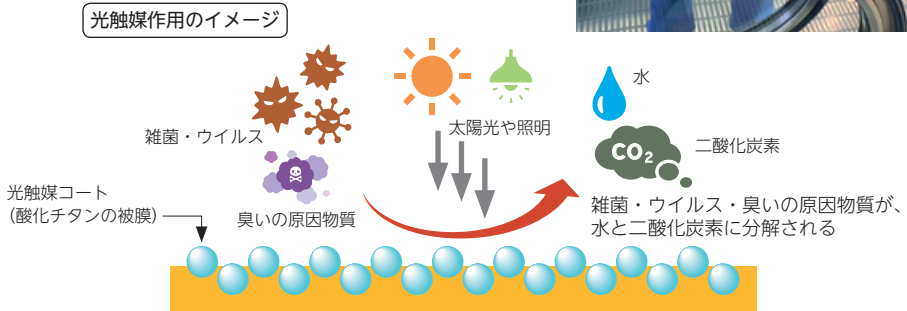
“三愛オブリ”グループ一丸となって、次の時代へ飛躍する企業グループを実現してまいります。

現商号	2022年4月より
三愛石油(株)	三愛オブリ(株)
国際油化(株)	三愛リテールサービス(株)
三愛プラント工業(株)	三愛オブリテック(株)
東日本三愛石油(株)	三愛オブリ東日本(株)
北陸三愛石油(株)	三愛オブリ北陸(株)
中国三愛ガスサプライ(株)	三愛オブリガスサービス中国(株)
三愛オブリガスサービス	三愛オブリガスサービス九州(株)
三愛石油カスタマーサービス(株)	三愛オブリカスタマーサービス(株)

光触媒「オブリガードプロテクト」の販売開始

三愛石油(株)は、新たに開発した光触媒コート剤「オブリガードプロテクト」の販売を2021年3月に開始いたしました。

本製品は、太陽光や照明などの光に反応し、抗菌・抗ウイルス・消臭等の効果を発揮します。現在、旅客船や介護施設等で採用されており、今後も本製品の有用性をアピールし、販売拡大に取り組んでまいります。



会社の概要

本店所在地 東京都品川区東大井五丁目22番5号

本社事務所 東京都千代田区大手町二丁目3番2号

創業年月日 1952年6月9日

主要な事業内容

- ・一般石油製品およびLPガス等の販売
- ・ガス事業法に基づくガス導管事業およびガス小売事業におけるガスの供給
- ・航空燃料の保管および航空機への給油
- ・防腐・防かび剤、消火剤、その他の化学薬品の販売
- ・一般石油製品の保管およびこれに伴う業務

従業員数 500名

資本金 10,127百万円

主なグループ会社

石油関連事業

- キグナス石油(株)
- 国際油化(株)
- 東日本三愛石油(株)
- 北陸三愛石油(株)

 化学品関連事業

- 三愛理研(株)

役員

取締役

代表取締役会長 金田 準
 代表取締役社長 塚原 由紀夫
 取締役 早川 智之 大沼 尚人
 社外取締役 高橋 朋敬 中川 洋 鵜瀬 恵子

監査役

常勤監査役 水谷 知彦 上野 篤志
 社外監査役 豊泉 貫太郎 河野 博文 渡邊 秀俊

執行役員

社長執行役員 塚原 由紀夫
 専務執行役員 早川 智之
 常務執行役員 大沼 尚人
 執行役員 大久保 宏次 志村 一郎 佐藤 孝志
 隼田 洋 須藤 晃

ガス関連事業

- 三愛オブリガス東日本(株)
- 三愛オブリガス播州(株)
- 三愛オブリガス中国(株)
- 三愛オブリガス九州(株)
- 三愛オブリガス三神(株)
- 佐賀ガス(株)

 航空関連事業他

- 三愛アビエーションサービス(株)
- (株)KAFCO
- 三愛プラント工業(株)

発行可能株式総数…………… 277,870,000株
 発行済株式の総数…………… 71,000,000株
 株主数…………… 3,363名
 単元株式数…………… 100株

大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
公益財団法人市村清新技術財団	8,282	12.01

株式会社日本カストディ銀行 (三井住友信託銀行再信託分・ 株式会社リコー退職給付信託口)	5,800	8.41
--	-------	------

日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	5,592	8.11
-----------------------------	-------	------

NORTHERN TRUST CO.(AVFC) RE FIDELITY FUNDS	5,318	7.71
---	-------	------

株式会社リコー	3,362	4.87
---------	-------	------

株式会社日本カストディ銀行 (信託口4)	2,580	3.74
-------------------------	-------	------

JP MORGAN CHASE BANK 385632	2,547	3.69
--------------------------------	-------	------

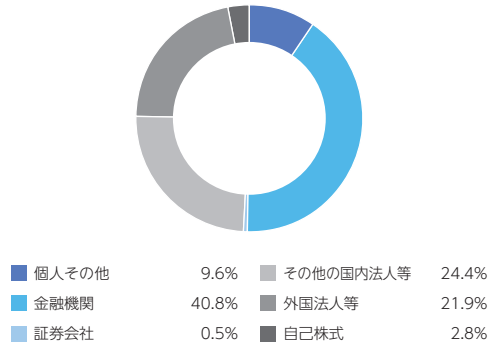
株式会社みずほ銀行	2,233	3.24
-----------	-------	------

株式会社三井住友銀行	2,203	3.19
------------	-------	------

三井住友信託銀行株式会社	2,173	3.15
--------------	-------	------

(注) 1. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。
 2. 当社は、自己株式を2,016,682株保有しております。

所有者別株式分布



中間配当について

第91期(2021年4月1日から2022年3月31日まで)の中間配当につきましては、2021年9月30日現在の株主のみなさまに以下に記載のとおり実施させていただきます。

中間配当: 1株につき金14円
 支払開始日: 2021年12月3日(金)

中間配当金領収証による配当金の払渡期間は2021年12月3日から2022年1月4日までとなっております。
 □座振込をご指定されていない株主さまは、同封の「第91期中間配当金領収証」をご持参のうえ、お近くのゆうちょ銀行全国本支店および出張所ならびに郵便局(銀行代理業者)にて払渡期間内にお受け取りください。

1株当たり配当金の推移 (単位: 円)

	第86期	第87期	第88期	第89期	第90期
中間配当	9.00	12.00	13.00	14.00	14.00
期末配当	12.00	15.00	14.00	14.00	14.00
年間	21.00	27.00	27.00	28.00	28.00

(注) 1. 第86期の期末配当には、特別配当1.00円および創立65周年記念配当1.00円が含まれております。
 2. 第87期の期末配当には、特別配当3.00円が含まれております。

ホームページのご案内

当社ホームページでは企業情報や財務情報をはじめとした事業活動やその動向などを紹介しております。当社をよりご理解いただくためにもWebサイトを是非ご覧ください。

http://www.san-ai-oil.co.jp/

三愛石油 検索



企業情報



投資家情報



CSR